

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2023 年 3 月 30 日作成 第 2 版

研究課題名	若年性特発性関節炎患者の関節障害および日常生活動作機能障害に影響する因子の調査
研究の対象	1991 年 7 月 1 日から 2023 年 2 月 28 日までに横浜市立大学附属病院において、小児特発性関節炎と診断された患者さんです。
研究目的 ・方法	小児特発性関節炎患者さんにおける短期・中期・長期的な関節障害および日常生活動作(ADL)障害に影響する因子を探索することです。 若年性特発性関節炎は、小児期に自己免疫性の関節炎が発症する比較的稀な疾患ですが、発症後は関節の機能障害が徐々に進行し、日常生活動作にさまざまな影響が出ることが少なくありません。関節の変形や機能の障害は患者さんごとに様々ですが、どのような患者さんでより強い関節の変形や機能の障害が出現するかについて明らかにした研究は、現在ほとんどありません。 本研究では、当院にて診断・治療を行った若年性特発性関節炎患者さんの関節および日常生活機能の障害に関連する因子について、患者さんの基本データや当院にてこれまでに検査したさまざまな検査結果を使用して、調査・検証します。
研究期間	許可日 ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	患者さんの基本情報や日常診療で実施された検査や治療内容とその成績などの項目を本研究に使用します。 診療録より以下の内容を収集します。 1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴、罹患期間 2) 診断分類（サブグループ 7 分類） 3) 血液検査（リウマトイド因子、CRP、総蛋白、アルブミン、血清補体価、C3、C4、MMP-3、IgG、IgA、IgM、血沈、抗核抗体、ds-DNA・IgG、抗 RNP 抗体、抗 SS-A 抗体、抗 ARS 抗体、抗 Sm 抗体、Scl-70 抗体、抗 CCP 抗体） 4) 治療内容（投与薬剤とその投与期間、滑膜切除・人工関節置換術等の外科的治療の有無） 5) 病理学的所見（免疫組織学的所見） 6) 治療効果（臨床スコア、ADL、Steinbrocker Stage、Class 分類） 7) 有害事象（治療薬による副作用・合併症、外科的治療における合併症） 8) 予後 [寛解率、部位別関節障害の有無(Steinbrocker stage 分類)、日常生活動作機能障害の有無(Steinbrocker class 分類, barthel index score)]

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 整形外科 （研究責任者）崔 賢民

電話番号：045－787-2800（代表） FAX：045－781－7922